

にこにこ情報

竹とんぼ



発行 社会福祉法人緑樹会

〒904-0021 沖縄市胡屋7-2-10

電話 098-930-2525 (にこにこ)

FAX 098-933-1324

ホームページ <http://www.ryokujukai.or.jp/>

メール kikaku@ryokujukai.or.jp



飛行日誌

もう三十七年も前の話である。二十五歳の私は、東京の大病院でも数少ない症例といわれる大病を患い、手術の後遺症で歩くことさえ覚束なくなっていた。その頃、私の隣の病室に目鼻立ちの整った可愛い小学校二年生の男の子が入院していた。M君は片足ながらも両松葉でスイスイと病院内を歩き回っていたが、夜になると、M君の泣き叫ぶ声が病棟中に響いた。M君の右足は太腿の辺りから切断されているのだが、幻視と言っていないはずの足が痒みや痛みで襲われるらしい。いつしか病棟の患者たちはM君の命を測るようになっていた。M君は私の病室にも遊びに来て、目を追って私たちは親しくなった。ただ、M君に病棟の大人たちが手を焼いていることがあった。彼はみんなの同情を楯にとるようにいたずらをし出した。便器をひっくり返したり、人の車椅子を勝手に乗り回したりと悪さを重ねていた。彼の命を慮ってか、誰も叱る人はいなかった。ある日、私のリハビリについてきたM君が、歩行訓練中の女性に松葉杖をひっかけ転倒させた。私は思わず彼の頬を引っ叩いた。すると、M君はそれこそ火がついたように大声で泣き出し、リハビリ室は騒然となった。

翌朝、M君が私の枕元に来て、今まで見せたこのない笑顔を浮かべて「おれのちんちんを見せる」と言った。私は寝起きに「いらん、いらん」とことわったが、M君はパジャマを下ろすと、切断された大腿部の包帯をクルクルと解いた。そして、「おれの大きいだろう」と言って、短くなった足をピコピコ動かして見せた。私は目頭が熱くなってただ頷くことしかできなかった。それから間もなくM君は義足をつけリハビリ専門の病院へ転院した。M君の訃報を聞いたのは、それから三ヶ月ほど経った、のどかな春の日だった。病室から見える庭には桜が満開に咲き誇っていた。(富永健)



第3回

国際ひやみかち節コンクール

平成二七年三月十四日、第3回国際ひやみかち節コンクールが沖縄市民小劇場あしびなーで開催された。出演者一〇組がそれぞれに個性豊かな「ひやみかち節」を披露し、二七〇名を超える来場者は、白熱の舞台に大きな拍手を送った。

昨年十一月から募集を開始し、締切の平成二七年二月十三日までに届いた応募作は23点。今年のカヤッチコピ「民謡、ロック、ジャズ、ヒップホップ等スタイル不問」の通り、音楽ジャンルや朗読など主催者側の予想を越えた作品が集まった。全ての作品が甲乙つけ難く、当初8組を予定していた本選出場枠を2枠ふやし、10組の一次審査通過者が決定した。

第3回
国際ひやみかち節コンクール
ひやみかせ。

大賞金 10万円
出場者募集 中絶
応募締切 27年2月13日(水)

本選当日、小雨がばらついたものの、会場には二七〇名を超える観客で沸いた。午後3時、開演プザーが鳴り、場内が暗転する。主催者の金城和昌緑樹会理事長が壇上に立ち、平成二五年の第2回大会直前に逝去した誠小(セイグワ)こと登川誠仁氏

に思いをはせた。(氏に言われた「帽子というものはかぶり続ければ必ず似合ってくる」という言葉を紹介し)、「くぬコンクールや頭んかい国際でいぬ帽子ぬ乗とおびいん。くぬ国際でいぬ帽子ぬ似ええんとうう、ちやあかんじいし、いちゆる、ちむええやいびいん」わした緑樹会や山内ぬたんめえ、誠小先生ぬ、ひやみかち節にくみらつとおる琉球ぬ思い広く世界んかい発信し、いけやあんでいるちむええやいあんでいるちむええやいええやいびいくとうぐすうようぬ、協力りいゆたさるぐとううねげえさびら」と挨拶をした。



出場全10組の中、三線を弾き歌い上げる、所謂「歌三線組」は4組。いずれも個性豊かな演者ばかりである。

オープニングを務めたのは、「歌三線組」の中でも2大会連続出場し、今年は三板も加入して、より華やかになった「名嘉姉妹と大東娘」。丁寧な演奏と愛嬌たっぷりの歌声で会場を沸かせた。



名嘉姉妹と大東娘

手製のカンカラ三線を携えた若千13歳「いんやく、りお」。一人、マイクの前に立つとその小さな体からは想像できないほどパワフルな歌声を披露、終盤はロックスターよろしく、頭の後ろで早弾きをみせた。



いんやく りお

竹とんぼ



2 源色 plus (ニゲンシキプラス)

続いて「2源色 plus(ニゲンシキプラス)」。ステージにライトが当たると、ハンドマイクを握りしめたボーカルがアカペラで歌いだす。そこにギターが重なり、横笛が後を追う。三線があのメロディを奏する時には、唯一無二の「ひやみかち節」が生まれる。最初あつげにとられていた会場も、ボーカルの力強いパフォーマンスに導かれ、徐々に体を揺らしだす。会場が一体となった。



日本琴サークル 銀河

三番目の登場は、ひやみかち節。三線と言う定番を踏襲せず、第1回第2回大会と日本琴アレーンジで独自の世界を作ってきたイクタキユウ率いる「日本琴サークル銀河」。今回は和太鼓も導入し、新たな世界に挑戦した。



エルマーナ & まほカンパニー

続いて「エルマーナ & まほカンパニー」。目も覚める鮮やかなフラメンコドレスで登場。華麗にカスタネットを打ち、靴を踏み鳴らす。ひやみかち節とフラメンコの相性がこんなにも良いとは会場の誰も思いもしなかっただろう。沖繩とスペインーまさに山内盛彬翁が生涯かけて証明しようとした「世界に通じる沖繩音楽」が舞台上で花開いた。



喜友名朝樹

最もオーソドックスな「正調ひやみかち節」を披露したのは「喜友名朝樹」。コミカルなキャラクターだが、歌い出すと本格派。演奏後のインタビュで「緊張しすぎた」と悔しがると姿もどかかユーモラスで、会場から温かい声援が送られた。



眞境名本流英美の会 喜屋武愛香琉舞道場

しつとりとした演奏の後に元気に飛び出したのは「眞境名本流英美の会喜屋武愛香琉舞道場」。総勢14名による創作琉舞ひやみかち節。元氣な踊りには会場から温かい拍手と声援が送られた。



lacorde (ラコルド)

後半戦は「lacorde」からスタート。ピアノ、三線、バイオリンの編成もさることながら、個々の持つ演奏技術が会場の隅々まで染み渡るような音世界を作り上げた。聞けば山内盛彬翁もバイオリンの名手だったと言う。そんな彼も、自作曲がバイオリンでこまごま華麗にアレンジされる日が来ると想像できただろうか。



はいさいくによし

大トリはご存じ「はいさいくによし」。前回覇者の風格を持ちながらも、どこまでもエンターテイメントに徹した。「国際ひやみかち節コンクール」が今日のようにバラエティ豊かになったのも、第1回出場から「ひやみかす」ことを使命とし、時に演奏で時に笑いで人々を魅了してきた彼の功績なしでは語れない。



srop drop (シロップドロップ)

スクリーンが下りてくると一つの絵が映し出される。「ひやみかちぶしのおはなし」と題された物語が、歌詞とともに展開していく。絵本作家のユニット「srop drop」の読み聞かせひやみかち節。本大会イチの異色作品でありながら、その世界は会場をゆっくりと包み込み、見る人に優しさと温かさを抱かせた。



「いろんな世代が、同じ曲で同じステージで競い合える。音楽の島、沖繩に生きていると実感しています。ありがとうございました。」 lacorde ピアノ 比嘉雅人



第3回国際ひやみかち節コンクール
ひやみかち大賞 lacorde (ラコルド)
審査員特別賞(仲本工業賞) いんやく りお
審査員特別賞(コザ信金賞) srop drop (シロップドロップ)
審査員特別賞 眞境名本流英美の会喜屋武愛香琉舞道場

全10組の演奏が終了し審査員は別室で選考を行った。今回から新たに会場投票も加味された。審査は難航を極め、予定時間を大きく延長し、各賞受賞者が決定した。

ひなまつり・お茶会 ケアハウスていんさぐぬ花

3月3日(火)、ケアハウス
ていんさぐぬ花では、ひなま
つりお茶会が開催された。

桃の節句ということ、女
性の入居者の皆様はいつもよ
りおしゃれをし、嬉しそうに
参加する様子が見られた。

「あかりをつけましょ ぼん
ぼりにく」の歌にのせ、お菓
子とお抹茶が入居者の皆様へ
ふるまわれた。なかには以前
にお茶をやっていた方もお
り、職員へお茶の作法を指導
する場面も見られた。

「また来年も開催しましょ
う！」と約束し、楽しい雰囲気
のなかでひなまつりお茶会は
幕を閉じた。(宮城奎司)

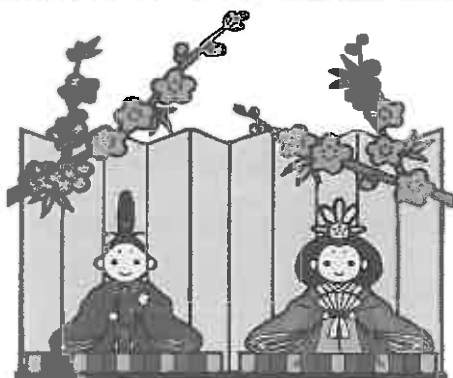


ケアハウスはいびすかす ひなまつり会

3月3日(火)、ケアハ
ウスはいびすかす2階
フロアで、はいびすかす
ひなまつり会が開催さ
れた。

入居者、職員合同で、
踊りを加えた「うれしい
ひなまつり」の歌が歌わ
れたほか、職員の民舞も
4曲披露された。

なかでも職員達によ
るお内裏様お雛様の仮
装を交えたユーモアな
踊りには笑いもあり、入
居者の皆様は笑顔を見
せ、ひなあられと甘酒に
舌鼓を打ちながら、ひな
まつりの雰囲気を楽し
んでいた。(屋宜早苗)



嘉手納基地所属ボランティア交流 みどり学童クラブ



2月は、嘉手納基地のボランティアの方々がみどり学童クラブを訪ね、パワー溢れる子ども達とドッジボールやゲームなどを行い、交流しました。今後とも交流を定例化していくことになり学童の子ども達もとても喜んでいきます。これを機にみどり学童クラブの活動がさらに充実していけるように頑張っていきたいと思っています。(新垣春美)



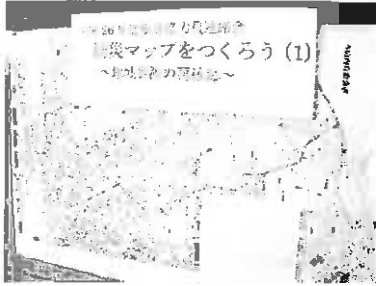
新年度に向けて...

春休みが終わるとみどり学童クラブに新しい仲間がたくさん増える予定です。新一年生、幼稚園生、どんな顔ぶれの児童たちが入園してくるかと指導員一同わくわくしながら新年度に向けて少しずつ準備を始めているところです。

今いる一年生児童14名も、去年入園した頃に比べるとだいぶお兄ちゃんお姉ちゃんになりました。子ども達の成長は早いものですね。2年生に進級したらきつと新一年生の前では頼もしい先輩になるのではと期待しています。私たち指導員も気合を入れて新年度をスタートさせたいと思いますのでご指導ご協力よろしくお願いいたします。

災害想定し防災マップ作成、地域資源の再確認

沖縄市高齢者支援センター相談協力員連絡会



3月11日(水)、山内自治会公民館で沖縄市高齢者支援センター相談協力員連絡会が開催され、緑樹苑が担当する地域(胡屋・諸見里・南桃原・山内)の相談協力員、自治会長、民生委員等、計20名が参加した。今回の連絡会では、「防災マップ作り(1)地域資源の再確認」をテーマに、胡屋自治会長の大城信男氏を講師に、自治会ごとの地図を実際に用いて防災マップが作成された。

防災マップは、災害を想定し、その後の対策を考えておくことで被害を最小限に抑えられるよう情報の共有と各自自治体の連携を図るために活用される。地図上に、災害が起こった際の食料、衣類、工具等備品を確保できる施設や広場等を記していき、地域全体を把握する作業が行われた。作業を進めていくなかで、個別



では把握していても全体として認識を共有できていなかった施設も多くみられ、参加者からは、「地域を知る事ができた」「いざという時の為に地域を知っておくのは大事なことだ」と思う。「防災意識を地域で高めていけるよう協力していきたい」などの声があがった。
(比嘉久美子)

平成27年度 社会福祉法人緑樹会 人事

異動 (4月1日～)

- ・事務局長 金城和郎 → ケアハウスはいびすかす副施設長
- ・おもてなしセンター長 幸喜穂乃 → 介護老人福祉施設緑樹苑事務長 (おもてなしセンター長兼任)
- ・事務局庶務主任 砂川智規 → 介護老人福祉施設緑樹苑事務長補佐
- ・介護老人福祉施設緑樹苑管理課長 宮城憲治 → ケアハウスはいびすかす管理課長
- ・緑樹苑居宅介護支援事業所介護支援専門員 小澤栄子 → 地域支援センター主任
- ・ケアハウスはいびすかす管理係長 橋詰金子 → 介護老人福祉施設緑樹苑管理課長
- ・ケアハウスはいびすかす介護主任 謝花京子 → 管理係長
- ・ケアハウスはいびすかす介護員 真栄城守忠 → 介護主任
- ・ケアハウスはいびすかす介護員 幸喜勝志 → 介護老人福祉施設緑樹苑介護員
- ・ケアハウスていんさぐぬ花介護員 前川太作 → 緑樹苑デイサービスセンター介護員

理事・監事・評議員 (4月5日～)

- | | | | |
|------------|----------|------------|------------|
| ・理事 金城和昌 | ・監事 崎原盛亨 | ・評議員 大島美枝子 | ・評議員 金城洋子 |
| ・理事 富永 健 | ・監事 増田雅暢 | ・評議員 宇根初美 | ・評議員 徳元将己 |
| ・理事 浜川 通 | | ・評議員 花城芙佐乃 | ・評議員 仲松節子 |
| ・理事 與古田哲雄 | | ・評議員 島袋初江 | ・評議員 喜友名君枝 |
| ・理事 久場恵子 | | ・評議員 山田佳世子 | ・評議員 金城清安 |
| ・理事 安谷屋百合子 | | ・評議員 宮平節子 | ・評議員 町田 隆 |
| | | ・評議員 長嶺栄子 | |

第3回 国際ひやみかち節コンクール



すつかり春らしい、暖かい季節となりました。4月は、新たな始まりの季節ですね。後援会員の皆様は、健やかに過ごしてのことと存じます。3月14日に開催された「第3回国際ひやみかち節コンクール」は、多くの方のご支援を頂き、盛況に終えることができました。

今回は、三線や三板のみならず、クラシックやヒップホップ調、琉球舞踊にフラメンコ、絵本など多様なジャンルのパフォーマンスで、会場

後援会だより

は大いに盛り上がりました。山内盛彬翁(コザ市名誉市民)が「ひやみかち節」に込めた魂の叫びは、世代を超えて多くの方に愛され、受け継がれていることを体感させられた日でした。

緑樹会が生んだ「国際ひやみかち節コンクール」が、その名の通り世界に名だたるコンクールへと発展すべく、後援会会員の皆様のより一層のご支援をお願い致します。(幸喜穂乃)

礼楽塾

参加ご希望の方、新たに活動を始めたい方は事務局までご連絡下さい！(日程が変更になる場合があります。)

*印は、会場が講師の道場等となります。

- | | | | |
|-------|---------|---------|---------|
| ■三板 | 第2・4(火) | ■王府おもろ* | 第2・4(水) |
| ■御座楽* | 毎週(火) | ■応急手当法 | 第2(木) |
| ■島言葉 | 第1・3(水) | ■湛水流三線 | 第3・4(金) |
| ■クエーナ | 第2・4(水) | ■PHP勉強会 | 各施設ごと |

職員募集のお知らせ

緑樹苑デイサービスセンター(問い合わせ:932-6566/担当:興座)

①職 種:介護職

雇用形態:正規職員

資格:要普通運転免許

給 与:140,000円 処遇改善手当あり
平成26年度14~17万円支給
資格手当あり、賞与年2回

勤 務:月~土(月21日勤務シフト制)

勤務時間:8:30~17:30(8時間勤務)

休 日:日曜日、他週2日程度、
年末年始

②職 種:看護師

雇用形態:パート

資格:正看、準看、運転免許

給 与:時給1,200円 賞与年2回

勤 務:月~土 週3日程度

勤務時間:8:30~17:30(8時間勤務)

休 日:日曜日、他、年末年始

居宅サービス事業所(問い合わせ:933-3280/担当:興座)

③職 種:訪問介護員(ヘルパー)

雇用形態:正規職員

資格:介護職員初任者研修(旧ヘルパー1,2級)、介護福祉士、普通運転免許

給 与:140,000円
処遇改善手当あり
平成26年度14~17万円支給
資格手当あり、賞与年2回

勤 務:月~日(月21日勤務シフト制)

勤務時間:7:00~19:00(シフト制8時間)

④職 種:訪問介護員(登録ヘルパー)

雇用形態:登録契約

資格:介護職員初任者研修(旧ヘルパー1,2級)、介護福祉士、普通運転免許

給 与:時給800円~1,500円
ケアの内容により異なる
処遇改善手当あり

勤務時間:7:00~19:00(相談に応じます)

4月行事・活動予定

	介護老人福祉施設緑樹苑	ケアハウスはいびすかす	ケアハウスていんさぐぬ花	緑樹苑デイサービスセンター	みどり学童クラブ
1(水)		ミニシアター	ていんさぐぬ花開所一周年	映写会	デイサービス交流会
2(木)		カラオケクラブ		ハンドマッサージ	
3(金)		手芸クラブ	ボウリング	手芸クラブ・手作りおやつ会	
4(土)			脳トレ		園外活動
5(日)					
6(月)			映写会		デイサービス交流会
7(火)			おやつ会		
8(水)		防災訓練	歌会		デイサービス交流会
9(木)	防災訓練	書道クラブ	輪投げ	防災訓練	防災訓練・嘉手納基地ボランティア交流
10(金)			スカッシュボール	手芸クラブ	
11(土)			映写会		園外活動
12(日)					
13(月)	入居者健康診断		ボウリング	苑内交流	デイサービス交流会
14(火)		三板クラブ・民舞	お茶会	映写会	
15(水)		ミニシアター	誕生会		デイサービス交流会
16(木)	緑樹会職員全体会議	カラオケクラブ・美化活動・全体会議	輪投げ・職員全体会議	緑樹会職員全体会議	
17(金)		手芸クラブ	スカッシュボール	手芸クラブ・誕生会	
18(土)			映写会	映写会	園外活動
19(日)					
20(月)		お茶クラブ	ボウリング	映写会	デイサービス交流会
21(火)	浜下り	浜下り	フラダンス		
22(水)	防災訓練	防災訓練	歌会	防災訓練	防災訓練・デイサービス交流会
23(木)		散髪・書道クラブ	散髪		嘉手納基地ボランティア交流会
24(金)			輪投げ	手芸クラブ	
25(土)			スカッシュボール		園外活動
26(日)					
27(月)		ドライブ	ボウリング		デイサービス交流会
28(火)		三板クラブ・民舞	脳トレ		
29(水)		誕生会	輪投げ		デイサービス交流会
30(木)			映写会	映写会	

感謝録

(平成二十七年二月一日～二月二十八日)
 (金員の部)

安仁屋 眞昭 様
 官里 志乃 様

温かい御支援、御協力下さいました方々に、厚く御礼申し上げます。

編集後記

昨年の3月に閉苑した軽費老人ホーム緑樹苑の解体工事が始まりました。閉苑後1年が経ちますが、建物は、人の出入りが無くなるとあっという間に朽ちてしまいます。以前には無かった箇所から雨漏りやタイルの剥がれ、壁の亀裂などが進んでいました。形あるものはいつかは無くなりますが、緑樹会の歴史そのものであった建物だけに、特別な思い入れのある方もたくさんいらっしゃると思います。少し寂しい気もしますが、新たなスタートでもあります。4月を迎え、また新たな気持ちで新年度をスタートさせたいと思います。

(砂川智規)